

## 被爆地への平和使節派遣

「非核平和都市品川宣言」に込められた平和への想いを次世代に引き継いでいくために、毎年被爆地である広島と長崎に平和使節を派遣しています。

### 中学生広島平和使節派遣

- ◆日程 8月5日～7日 2泊3日
- ◆対象 区立中学校・義務教育学校8年生計15名(各校1名)
- ◆応募方法 4月頃に各校を通じて案内をお渡しします。
- ◆行程
  - 8月5日 被爆者講話聴講、原爆ドーム・平和記念公園見学
  - 8月6日 平和記念式典参列、平和記念資料館見学、灯ろう流し
  - 8月7日 碑めぐり講話聴講



### 青少年長崎平和使節派遣

- ◆日程 8月8日～10日 2泊3日
- ◆対象 区内在住・在学・在勤で、中学生以上29歳までの方
- ◆応募方法 4月頃に区ホームページ・広報紙でお知らせします。
- ◆行程
  - 8月8日 青少年ピースフォーラム(被爆者講話聴講、平和学習)、平和の灯事業参加
  - 8月9日 平和祈念式典参列、青少年ピースフォーラム(平和学習)、原爆資料館見学
  - 8月10日 自主学習、市内見学



## 非核平和パネル展の開催

区役所等

「非核平和都市品川宣言」を記念して、毎年3月中旬から下旬の間、広島・長崎平和使節派遣の成果発表資料や被爆当時の写真などを展示しています。



## 「平和の種子」の配布

区役所等

区役所や区主催イベント等で、「平和」の意味を持つ花(コスモス等)の種子入りの宣言袋を配布し、平和の想いを広げていきます。



## 非核平和記念品の作成・販売

区政資料コーナー・品川歴史館 総務課

- 図書カード(500円・1000円)
- ポロシャツ(1900円)
- 声の戦争体験集 CD(500円)、本(1000円)
- ピンブローチ(800円)



## 非核平和 PR 動画「あの悲劇を繰り返さないために・・・」(2019(令和元)年9月制作)

YouTube 配信



戦争の記憶を風化させず、非核・平和意識を区内外に広めていくため、区が実施する平和事業の概要や平和使節派遣生の想い、しながわ平和の花壇の発案者(以前の平和使節派遣生)のインタビューなどを収録した動画(2分×5バージョン)をYouTube品川区公式チャンネル「しながわネットTV」で配信しています。



動画はこちら

# 非核平和都市 品川区の取り組み



品川区は、1985(昭和60)年3月26日に「非核平和都市品川宣言」を行いました。宣言の趣旨である核兵器廃絶と恒久的平和確立の精神を継続的に広く普及させていくとともに、戦争の悲惨さ、平和の大切さを次世代に伝え続けます。

区のホームページでも取組の紹介をしています。



## 非核平和都市品川宣言 40周年

今、この地球に人類は自らを滅ぼして余りある核兵器を蓄えた。いまだかつて、開発された兵器で使われなかったものはない。これは、歴史の恐るべき証明である。

一刻も早く、核兵器をなくさなければならぬ。頭上に核の閃光がひらめく前に遅すぎたとき、それを悔やむだけの未来すら我われには残されていない。

品川区は、核兵器廃絶と恒久的平和確立の悲願を込めてここに非核平和都市を宣言し、全世界に訴える。

我われは、いかなる国であれ、いかなる理由であれ核兵器の製造、配備、持込みを認めない。持てる国は、即時に核兵器を捨てよと。

このかけがえのない美しい地球とそこに住む生きとし生けるものを守り伝えるために

一九八五(昭和六十)年三月二十六日

品川区

## Shinagawa Declaration of a Non-nuclear Peace Area

※非核平和都市品川宣言英訳

At the present time, on earth the human race has accumulated a nuclear arsenal quite sufficient to totally destroy itself. No weapon has ever been developed which has not at sometime been put to use. History bears witness to this terrifying truth. We must lose no time in ridding the world of nuclear weapons. Before the glaring flash fills the sky above our heads. If we are too late, we will not even be left with a future to lament our failure. With the heartfelt plea that nuclear weapons be abolished and permanent peace be established, Shinagawa City declares itself a Non-nuclear Peace Area and makes its appeal to the world. We refuse to allow the manufacture, placement or introduction of nuclear weapons, by whatever country, for whatever reason. To countries holding such weapons, we say, abandon your nuclear armaments immediately! For the future of this beautiful, irreplaceable earth and for all things living that exist upon it.



26th March 1985  
Shinagawa City  
Tokyo



お問い合わせ 品川区総務課 平和・国際担当  
電話 03-5742-6691 FAX 03-3774-6356  
メール somu-kokusai@city.shinagawa.tokyo.jp



1 「平和の誓い」像

平和への願いをこめてつくられたこの像は、母親が右手に高くかざした非核平和都市品川宣言のシンボルマークを男児が見つめ、次の世代にその心を語りついでいくことを表しています。台座は原爆のきのこ雲がかたどられています。

(ミニチュアは大崎ニューシティ内、JR西大井駅前、五反田文化センター内、品川図書館内に展示)

制作：小金丸幾久氏

JR大井町駅前

1986(昭和61)年3月設置  
宣言1周年を記念して制作  
(1)高さ 4.0m  
(2)材質 像：ブロンズ 台座：白御影石



2 大崎ニューシティ

1987(昭和62)年1月設置  
(1)高さ 1.7m  
(2)材質 像：ブロンズ 台座：稲田石



3 JR西大井駅前

1989(平成元)年3月設置  
(1)高さ 2.4m  
(2)材質 像：ブロンズ 台座：吹雪御影石



4 五反田文化センター内

2014(平成26)年8月設置  
(1)高さ 1.7m  
(2)材質 像：ブロンズ 台座：白御影石

非核平和都市品川宣言「シンボルマーク」



このシンボルマークは、平和の象徴であるハトが爆弾をくわえていってしまうことを表しており、ハトには品川の文字をデザインしています。

1985(昭和60)年7月決定

「平和のモニュメント」

しながわ中央公園(区役所前)



8

平和のシンボル「千羽鶴」をモチーフとしています。モニュメント周辺の花壇は、非核平和都市品川宣言のシンボルマークのハトの形にデザインされています。地中には品川区平和使節として広島・長崎に派遣された中学生・青少年の作文などが入ったタイムカプセルが埋め込まれています。【2035年開封】

2005(平成17)年3月設置  
宣言20周年を記念して制作  
(1)高さ 3.0m  
(2)材質 白御影石



9

「平和資料コーナー」

品川図書館

宣言の趣旨に沿った図書(一般・児童)、地域行政資料、DVDなどの視聴覚資料や写真パネルなど約5,000点を収集しています。

# 品川区内平和MAP

しながわ平和の花壇

JR大井町駅前、JR西大井駅前、五反田文化センター、各区立中学校・義務教育学校(計15校)

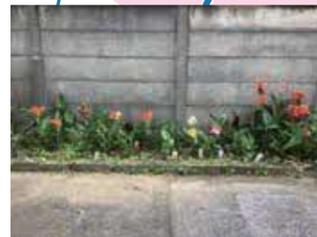
すべての人々が、非核・平和について考える機会をつくり、戦争の悲惨さを深く知ることで、非核・平和の意識がさらに広まるように設置しています。この花壇には、平和を愛する区民の想いをつなぐため、平和を象徴する花と呼ばれる「カンナ」と、平和にちなんだ花(ペゴニア・パンジー等)を植えています。この取り組みは、当時区内在住の中学生(平和使節派遣生)の提案により実現されました。

※マークは区内中学校、義務教育学校の平和の花壇



5

JR大井町駅前



大崎中学校

富士見台中学校



6

JR西大井駅前



7

五反田文化センター

平和を象徴する花「カンナ」



「75年草木も生えない」と言われた爆心地に、いち早く開花したことが人々の胸を打ち、平和を象徴する花と呼ばれるようになりました。

「誓いの灯」

JR大井町駅前

広島市の平和記念公園にある「平和の灯」と長崎市の平和公園にある「誓いの火」から採火し、合わせて灯にしました。

この灯は戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを永く後世へ伝え、再び核の閃光を頭上にひらめかせてはならないことを誓うものです。

また、東京2020パラリンピック競技大会では、「品川の火」として東京都へ届けられました。その後「東京都の火」となり、全国集火式を経て「東京2020パラリンピック聖火」となりました。

1990(平成2)年8月設置



10